



## 若者サポートステーション機能強化について

横浜市議員 高橋まさはる

公明党横浜市議員団 政務調査会長  
1959年岡山県倉敷市玉島生まれ  
02年 東芝ソシオシステムズ(株) 退社  
03年 横浜市議員に初当選/現在2期目  
◎事務所/緑区中山町 320-5 ☎045-929-5305



現在、若者が抱える最大の課題は雇用問題です。

昨年の12月時点で、15歳から24歳までの完全失業率は8.4%。高校、大学等新卒予定者の内定率が大学生で73.1%、高校生で68.1%と過去最低です。

第3回定例会の「横浜市一般会計補正予算」に関連する質疑で、若者全体の雇用環境が急速に悪化する中で、ひきこもりや障害、疾病などで、就労に困難を抱える若者に対して横浜市はどのように取り組んで行くのか、質問をしました。

林文字市長は、「若者一人一人の状態や状況に応じたきめ細かな相談、支援のため、この4月から施行された“子ども・若者育成支援推進法”に基づき、教育、雇用、福祉、医療など分野の異なる機関、NPO等が連携して支援する体制として仮称『横浜市子ども・若者

### 継続的な支援、雇用支援が重要

地域支援協議会』を設置、これを核に“青少年相談センター”の機能強化を図り、“よこはま若者サポートステーション”や“地域ユースプラザ”などの困難を抱える若者のための相談支援体制を拡充する」と答弁しました。

国や県も雇用対策を打出していますが、いずれも緊急性に重点が置かれています。困難を抱えた若者の支援には、きめ細かな取り組みが必要であり、やはり地域が主体となって取り組む事が重要だと考えています。

コミュニケーション能力が不足し社会から孤立する若者が増加しています。私は、元気で活力のある地域を形成し、日本を再生していくためにも、若者の社会的自立や就労に向けた継続的な支援に今後も一所懸命に取り組んでまいります。